

おります。本当にプロセスはプロセスで私は分けて考えていきたいと思えます。

それから、その時に、あり方研究会でもすごくびっくりしたこととしては、空調が全館一括だったということだったんですよね。結局、大ホールを使わなかったときにもやらなきゃいけない。全館いっぺんの空調だという事を、その時委員も皆さん知らなくて、もう本当にこれなんという無駄なことかと、やっぱり思ったんですが。今回これを、この事業で手をつけることで、完全に分けるというようなことにはならないらしいんですけども、大ホールを使わない時には、本館部分の方…ほかの部分の方を効率的に空調ができるようにするというような、効率化は考えているということだったので、この辺も、もう本当にあの時のショックを受けた大問題が少しは解消されるのだなというふうに思います。これはCO2削減の無駄でもあるし、光熱費の無駄もかなり抑えられるんじゃないかと思っています。法令点検やっていると、老朽化が著しくて、早急に改修計画を但し書きがされている。空調設備なので、今日、明日壊れると言われたわけではありません。だけど、1年後、2年後、本当に大丈夫かというふうに聞かれたら、やっぱり自信を持って大丈夫だというふうには、なかなか答えられないんじゃないかと思っています。じゃあ、壊れるまで待って、壊れたら直せばいいよという意見もあるようですけれども、そうすると、やっぱり全額町の負担ということにもなりますし、その時補助金を出してみたら、もしかしたら通るかもわからないけれども、このESCO事業に関しては、申請しても採択されなかったという例も近隣ではあると、資料の中にありました。やはり、簡単に補助金が取れる、もう本当に、本山町政になってからいろんな補助金をあの手この手で取ってくださるので、何となく皆さんは補助金は簡単に取れると思ってるかもしれないけれども、本当にそれは職員の方々がすごく頑張ってくださってると思うんです。簡単に取れる補助金は一つもないと、私は思います。

そして一番困るのは、じゃあ壊れた。じゃあそれまで、直すまでは、町民の活動はストップしてしまうのかという、そこなんですよね。結局、文化団体だけではなくて、今の高齢者の体操だとか、そういう軽スポーツなんかもやっています。もちろんボルダリングもやっていますけど



文化センターボイラー

も。それから、子どもたちの活動、寺子屋などもやっております。それから、ボランティア団体ですよね。手話のサークルだとか、そういうのもやっております。こういったこともストップしなきゃいけない。直るまではストップしなきゃいけないとなると、皆さん本当に途方に暮れると思うんです。本当は3.11の後に、大きな施設が使えない期間というのが、皆さん覚えてらっしゃると思いますけれども。私なんかいろいろな団体にかかわっていたので、もう本当、いちいち探し回らなくちゃならなくて、遠いときには小田原まで借りに行ったりしたという記憶があるんです。そんなふうになってしまったら、本当町民に対する迷惑は大変なものになってしまうと思うんですよ。あと、図書館の蔵書もね、やっぱりエアコンがなければ傷んでしまうと思いますし、またその間、避難所としては使えないことになります。やっぱり、急に壊れたら直すという事は、これはちょっとなかなか考えにくい。ですから、このタイミングで、この事業として進めていくというのが、やっぱり大事なのかなと思います。

そして、16日すでに特別委員会が開かれて、この案件について。まずは自治法98条に基づく調査が始まっております。先ほど幾つかの、皆さんの質疑などにもありましたけれども、幾つか、まだね、解明されていないところは確かにございます。それからあと、やっぱりもう少し早く、どうして議会に言ってくれなかったのかという、そういう部分もまだ納得できる説明はちょっと無いという段階です。それでもやっぱり、ここはちょっと切り離していただいて、やはり使えるようにする、安全に使えるようにするという、ここを尊重して事業はやっていただきたいと思うんですね。

先ほどから競争原理が働かなかったというふうなことは、やはり問題だとおっしゃってますが、本当に前提というか、原則としてはそういうものが必要なんでしょうけれども、優先交渉者1者とともに、1者とは町は交渉を重ねてきて、当初の提案からどんどん不必要な工事は省くなどして、大分安いところまで、1億5,100万円まで下げてきています。やはりこれは、事業者からの提案を鵜呑みにすることは無く、きちんと詳細に検討して交渉していたという町側の努力を、やはり認めるべきではないかと思えます。

こういったことで、本当に使って…使ってない人はいらんんじゃないのという声もちょっとあったんですけども、それはもう本当にどんな事業であっても、じゃあ小学校行ってない人、じゃあ駅を使ってない人、本当に100%の人が納得するということはなかなかできないと思うんです。

それで、そういう100%の納得はないと思うんです。でも、あそここの場所は誰でも使える。そして、1,000人規模で人が集まれるということで、やっぱりほかに代替する場所というのは、松田の中には無いと思うんですね。非常にそれは重要な場所だということで、その場所の安心・安全の担保、これはやはりとても重要なことだと思うんです。本当に今言ったとおり、プロセスの中で、もっとこういうことを町民に直接議員の中も聞いて、それを吸収するような時間が本当は欲しかったんですけども、それが無かったのは本当に残念なんです。今、私の判断としては、この事業を成立させて進めていただきたい。そういうふうに思って、賛成討論といたします。